

【ファシリテーターの活動状況】

第5回地域包括ケア専門職“絆研修①退院支援「病院から在宅へ」

■ 日時 令和2年9月27日（日） 9：15～12：15

■ 場所 東部医師会館

◎ 研修参加者 55名(内多研修支援WG1名)：7グループ

◎ ファシリテーター 8名

◎ プレゼンター 3名

※今回は、初めてのウェブ研修を取り入れての開催となりました。ファシリテーター、プレゼンターをはじめ当日参加可能な研修支援WG委員のスタッフが、9/7, 9/14, 9/25に事前準備を行い、研修当日最終打合せ後に研修にのぞみました。



◆地域包括ケアについて・アイスブレイキング

◆まとめ

(研修のディレクター 足立 誠司 医師：鳥取市立病院)



◆ワーク①の進行とプレゼンテーション
(廣山恵ファシリテーター：学識経験者)



◆ワーク②の進行とプレゼンテーション
(曾田淳ファシリテーター：デイサービスあらいぶ)

◆ファシリテーターの自己評価（一部抜粋）

1. ファシリとして良くできたと思うこと、このままやっっていこうと思うこと

- ・初参加の方が多かったので、例えば…などの例を提示すると、意見が活発化したのでいいパスを出せたかなと思う。
- ・グループワークの際、参加者が理解できるよう導入を行い、自主的に勧められるよう気をつけて行えた。
- ・グループワークの前に、もう一度このワークで話し合う内容を伝えて、共通認識が持てるようにしたこと。
- ・ファシリとしては時間が気になり焦る場面はあったが、参加者の自主性を尊重したこと。
- ・メンバーの意見交換が活発に出来たこと。発表も積極的だったこと。
- ・まんべんなく発表してもらえるように、司会者に助言することができた。



2. ファシリとして今後努力を要すること、やり方を変えてみよようと思うこと

- ・前半のGWと後半のGWとのつながりをもっと意識できればより良いと思った。
- ・話しやすい雰囲気づくりには、それぞれのファシリが開始前に雑談など何となく空気が和らぐような声掛けができればよりアイスブレイクになるんだろうなと感じた。
- ・参加回数や職場での職種等により、カンファレンスを進めていく過程などの理解に差が生じる事があるので、同じ場面設定ができるような働きかけの工夫が必要と感じた。
- ・グループの力量にあわせて、声掛けやその場の対応を臨機応変にかえていけるようにファシリとしてのスキルアップに努めたい。
- ・司会者がグループワークの時間配分が出来ていなかったもので、始まる前に時間設定するように声をかけると良かったと思う。
- ・全体発表への抵抗感が強く、担当のグループからの全体発表がなかった。「他のグループが発表していないこと」というのに引っかかっておられると感じたので、重複でも良い旨声かけをすべきだったと反省した。

3. 研修参加者にとって何が・どんなことが一番よかったか

- ・初参加の方ばかりで、緊張はもちろんあったが最後の方にはお互いが気兼ねなく意見を出し合える状態であったため、盛り上がり方が良かった。ほかの職種を経験して“難しかった”とか“ほかの職種をもっと知ろうと思った”などの狙い通りの感想を言ってくださっていた。
- ・初めて顔を合わせる方が多く、また包括支援センターが10/1から変わるタイミングでもあり、グループ内で共有していた。顔の見える連携に今後繋げていけるのではないかと思う。
- ・違う職種で退院前カンファレンスの雰囲気が体験でき、そこでの気付きとして、会議に参加している当事者本人・家族が感じる気持ち（多数の専門職を前にして本音が言えない、恥ずかしい等ネガティブな感情）が想像できたことがよかったと思う。
- ・リモートでのグループワークなど新しい研修スタイルが体験できたことは貴重な経験になった。
- ・ワークシートを見ながら、別の職種の立場でどのような視点でカンファレンスに望むか考え、体験したこと。
- ・新しく参加された人が多かったが、リーダーシップがとれ盛り上がりがあり良かった。メンバーの在宅、病院のバランスがとれていてよかった。
- ・担当者会議に参加している本人、家族の立場になると、会議にもっと配慮が必要だ、こうしたほうが良い等活発な意見が出ていた。



4. 研修参加者にとって何が・どんなことが良くなかったか

- ・グループワークを行う時間が足り苦しい様子だった。盛り上がったあたりで終了になっていた。
- ・グループの設定人数が多く、また、ウェブ参加者の場面の切り替えなどもあり、グループワーク中の1人1人の発言時間が非常に限られてしまい、ディスカッションをする雰囲気にならず、1言ずつ意見を言うてもらったのが精一杯であった。グループ内の意見をまとめる時間もなかった。グループワークがメインのため、もう少し時間をとるか、もしくはグループの人数を少なくするかいずれかの調整が必要と感じた。
- ・アイスブレイクは、リモート参加者を含むグループでは、他己紹介は場面の切り替えや時間管理等ハードルがとても高く難しかった。もう少し簡単な自己紹介にした方がスムーズに研修が開始できると感じた。
- ・全体発表での発言がなかったので、せっかくグループで話し合った意見を共有できずもったいなかった。発表していたグループと比較して達成感も低くなると思った。

5. 研修までの準備に関する感想

- ・今回はZOOMに関連したファシリ・運営スタッフ・先生方に本当に敬意を感じました。
- ・プレゼンター、ファシリ、事務局の方と打ち合わせを行う機会が事前に設定してありよかった。
- ・リモートで行うスタイルの知識不足でウェブ参加者と現地参加者がミックスした形のグループのイメージができないまま当日を迎えてしまい反省している。
- ・今後コロナが終息しても、いつどんな状況になるかわからないので、新しい研修スタイルにチャレンジすることは大切だと思った。

6. その他（感想・意見）

- ・カンファレンスを完結する事が目的ではないが、時間内に、本人や家族の意向を確認することまで気が回らないような様子もあったように思います。
- ・絆研修はじめてのウェブ開催とミックスでの新しい研修スタイルを経験させていただき、とても良い経験と勉強になりました。ありがとうございました。
- ・実際にやってみないと分からない課題も見え、次につながる第一歩になったと思います。
- ・新しい研修方式で準備が大変だったと思いますが、やってみて良かったと思いました。これからも研修会が進化していくことで、今まで参加しにくかった方の参加につながると良いと思います。

